

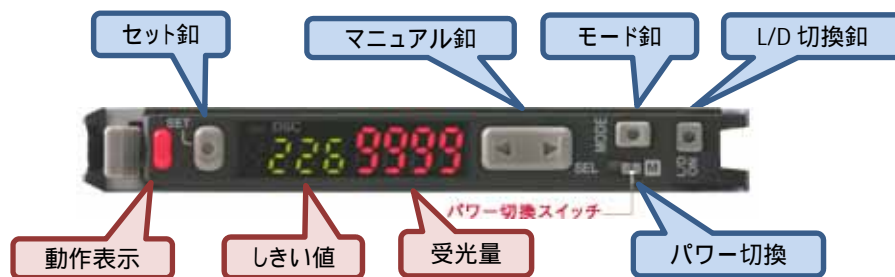
光電センサ(キーエンス製FS-V30)取扱説明書

センサ取付方法

1. センサステーの長さ調整ネジを緩めて、取引用計器のガラス面との間隙が1mm以内になるよう調節する。
2. 主装置にセンサのリード線を接続し、赤色スポット光を発光させる。
3. 光電センサのスポット光が取引用計器の液晶点滅の中心に当たるよう位置決めし、ビス位置をマークする。
ガラス面からの明るいスポット反射光と間違わないで、液晶面の純いスポット反射光に合わせて下さい。
4. 木板にマークした位置を電池ドリルで下穴をあけてから、木ビスでセンサを取り付ける。
5. 木ビスで取り付け後、赤い数字(受光量)が大きく変化するよう微調整する。



各部の名称



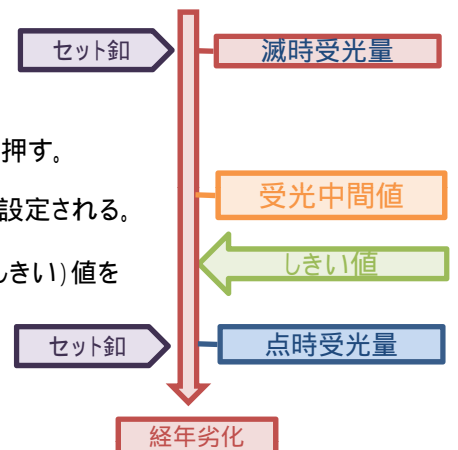
受光量設定方法

1. 赤色スポット光が、取引用計器のWH丸形液晶点滅の中心に当たるようにセンサを取り付ける。
2. 「モード釦」を長押しすると、時間を置いて緑色の数字がアルファベットに変わる。
3. 「マニュアル釦」の左側を何回か押して受光量が1000以上になるよう変更し、「モード釦」を長押しして戻る。

感度(ゲイン)を大きくしているだけなので、この操作によりLEDの寿命が短くなることはありません。

しきい値設定方法

1. 丸形液晶点滅が、「点」または「滅」の時、「セット釦」を1回押す。
2. 丸形液晶点滅が、1の操作の逆の時に、もう一度、「セット釦」を1回押す。
3. 設定(しきい)値が、液晶点滅による受光量の変化の中間値に自動設定される。
4. 夜間や経年劣化を考慮して、「マニュアル釦」の右側を押し、設定(しきい)値を中間値と「点」時の受光量の中央付近にする。



リセット方法

1. 「L/D切換釦」を押しながら、「セット釦」を5秒以上押し続けると、「rst」と表示が変わる。
2. 「モード釦」を押すと、「no」と表示するので、「マニュアル釦」で「init」を選び、「モード釦」を押す。